

新潟県社会福祉士会

# 事務局だより

2025 No. 04 Dec.2025

## 今後の研修のご案内

リーガル・ソーシャルワーク研修

誰もが“当たり前の幸せ”を生きられる社会へ

～障害当事者と共に考える恋愛・結婚・出産について～

人・仕組み・地域とつながる。ソーシャルワーク実践報告会

ソーシャルアクション実践 はじめの一步

## 成年後見人材育成研修見直しに関して

マナブル利用登録のお願い ほか

発行：

公益社団法人新潟県社会福祉士会

〒950-0994新潟市中央区上所2-2-2

新潟ユニゾンプラザ3階

TEL：025-281-5502／FAX：025-281-5504

Mail：info@cswniigata.com

URL：https://csw-niigata.com/

2025年12月1日

# リーガルソーシャルワークチーム

認定社会福祉士認証研修

リーガル・ソーシャルワーク研修

2026.1.29 (金)、1.30 (土)

新潟ユニゾンプラザ

※1日目、2日目のみの受講も可能。  
ただし認定単位を取得する場合は2日間  
受講必須です。

本研修の詳細は  
当会ホームページから  
確認できます



罪を犯した人を取り巻く環境や背景には、  
生きづらさや社会的孤立など、多様な複雑な  
状況があります。こうした人たちの中には福  
祉の対象となる高齢者や障害者もあり、犯罪  
に至る経緯を理解し、出所後の支援を視野に  
入れた福祉的支援が必要となります。  
本研修は、司法と連携した支援の展開を体  
系的に学ぶ内容となっています。

## 今後の研修のご案内

随時、ホームページやSNSに詳細を掲載いたします。参加をご予定ください！



## 障害者支援班

誰もが“当たり前の幸せ”を生きられる社会へ  
～障害当事者と共に考える恋愛・結婚・出産について～

障害のある方の恋愛、結婚、子育てについて福祉支援者は正面から向き合ってきただろうか？  
障害のある方が求める幸せの形は社会の中で当たり前の実現できているのか？  
障害ある方の「普通の暮らし」を護るという観点から、恋愛・結婚・子育てについて、社会の在り方、福祉支援者ができる支援について考えます。

2026.1.12 (月・祝) 13:00～16:30

新潟ユニゾンプラザ

(オンライン参加も可)

基調講演：松村 真美 氏

社会福祉法人南高愛隣会（長崎県）常務理事  
20年以上にわたり、障害ある人の出会いの場づくりから結婚～子育てまでを支援してきた南高愛隣会の法人自主事業・結婚推進室「ぶ～け」の取り組みをお聞きます。

新潟県内の支援者からの実践発表や、当事者からのお話もおうかがいする予定です。

# 高齢者支援班

## 人・仕組み・地域とつながる。 ソーシャルワーク実践報告会

2026.2.20 (金) 13:15~16:30

メイン会場：新潟ユニゾンプラザ

サテライト会場：ハイブ長岡（中越会場）

リボーン会議室（上越会場）

新穂愛宕の園会議室（佐渡会場）

地域や領域を超えて「つながる」ことで生まれるものとは。「つながり」を意識したソーシャルワーク実践をお聞きます。メイン会場と各サテライト会場も、オンラインで「つながります」。

実践報告：

- ・ 高齢・障がい・こども、すべての相談窓口となっている上越市の地域包括支援センターの実践
- ・ 関川村社会福祉協議会における重層的支援体制整備に関する実践
- ・ 昨年度のこの実践報告会への参加をきっかけに長岡市で事業を立ち上げた社会福祉士の実践

# 生活支援班

明日から職場で実践したくなる！

## ソーシャルアクション実践 はじめの一步



2026.3.8 (日) 14:00~16:30

新潟ユニゾンプラザ 4階・大会議室

### 内容

- ・ 実践報告  
魚沼市社会福祉協議会 佐藤直樹さん  
田園調布学園大学 長谷川洋昭さん
- ・ グループワーク  
話し合っってソーシャルアクションのイメージを広げましょう！

「ソーシャルアクション」…もしかししたら国試対策以来、久しぶりに聞いたかも知れません。でも、日頃の実践の中に「ソーシャルアクション」ってけっこうあるかもしれない。ソーシャルワーカーにとって身近なもので、大きな手段なのでは？：そんな気づきから、生活支援班ではこのテーマに向き合うことにしました。私たちの生活支援班と一緒に、お二人の実践を通じて「ソーシャルアクション」を探してみませんか？



# 成年後見人材育成研修（委託研修）見直しに関して

1月18日、日本社会福祉士会により、成年後見人材育成研修（委託研修）の見直しに関する説明会が開催されました。

全国社会福祉士会から、成年後見事業の担当理事や運営委員、事務局職員など、150名を超える参加があり、当会からも、ばあとなあ新潟本部運営委員9名と事務局員2名が参加しました。

現在実施している成年後見人材育成研修（委託研修）については、昨今の政策動向を踏まえ、日本社会福祉士会のプロジェクトチームにより研修カリキュラムの見直しが行われてきました。今年10月に、認定社会福祉士認証機構へ新規申請を行ったこのことです。この申請の承認を経て、2026年度以降から、新カリキュラムでの成年後見人材育成研修（委託研修）が全国展開される予定であり、今回、各都道府県社会福祉士会へ見直しの概要が説明されました。

## 新研修のポイント

### 1. 新課目の追加

新研修では、新たに次の2つの課目が追加。

新課目3「意思決定支援の基本」  
新課目5「中核機関の役割と機能」

### 2. 課目の変更

旧課目2「成年後見活動における判断能力のとらえ方」

新課目7「医療機関との連携」

旧課目4「財産法の基礎」および旧課目5「財産管理のための知識」

新課目6「財産法の基礎・財産管理のための知識」

旧課目6「後見事務の実際1」および旧課目11「後見事務の実際2」

新課目9「後見事務の実際」

旧課目7「家庭裁判所の実務の理解」

新課目4「成年後見制度における家庭裁判所の理解」

旧課目11「演習1ニーズの把握と対応」および旧課目12「演習2ネットワーク活用による権利擁護」

課目10「演習1成年後見制度の必要性の判断」、課目11「演習2権利擁護支援チームの形成支援」および課目12「演習3権利擁護支援チームの自立支援」

### 3. 視聴覚教材を使用する課目

次の課目については、日本社会福祉士会で作成予定の視聴覚教材を集合研修会場で流し、その場で受講者が視聴。

新課目1「成年後見制度の解説」

新課目4「成年後見制度における家庭裁判所の理解」

新課目5「中核機関の役割と機能」（前半45分のみ）

### 4. eラーニングとなる課目

次の課目については、日本社会福祉士会で作成予定のeラーニングを視聴。

eラーニング①「家族法の基礎」（旧課目8「家族法の基礎」）

eラーニング②「障害特性の理解」（旧課目2「成年後見活動における判断能力のとらえ方」）

### 5. 新たな指定テキスト

課目の追加・変更に伴い、「意思決定支援実践ハンドブック」（民事法研究会）を、指定テキストとして追加。

2月にも日本社会福祉士会による担当者向け研修が予定されています。

新研修への対応については、ばあとなあ新潟本部運営委員会では検討して参ります。

9月21日(日)の午後、「今、学校で子どもたちに起きていること、わたしたちにできること」と題した研修会を実施しました。

福祉専門職以外に、教育関係者からも多くご参加いただきました。また、福祉を学ぶ学生の参加もあり、多種多様な顔触れとなりました。

前半は、日本福祉大学・野尻紀恵教授からご講演をいただきました。スクールソーシャルワーカーとしての実践から見える昨今のこども・家庭の現状、その家庭に対する支援の展開についてもお話いただきました。

後半はグループごとに、参加者がそれぞれの立場で「明日からできること」について話し合いました。

生活支援班の研修では、グループワークを恒例としています。参加者を小グループに分けて意見交換することで、横のつながりを作ることで、また、立場が異なる参加者の専門性や業務を知ること、それにより今後の自らの支援の幅を広げていけると考えています。

当班では3月に「ソーシャルアクション」をテーマとした研修会を開催します。ぜひご参加ください。  
(報告：國兼明嗣)



## ぱあとなあ

### ■ 中越地区

11月9日、さいわいプラザで開催。33名が参加。今回は『小グループでの対話を促進する』ワールドカフェ方式のグループワークを採用。テーマは「後見人をしていてよかったときは?」「後見人と親族、支援者との関わり方」。テーマ毎にメンバーを入れ替えながら多様な意見等を共有でき、自分たちの活動の意義を再認識することができました。

また、家裁との連携方法に関する質疑応答・情報交換も行いました。(報告：平澤武)



### ■ 魚沼地区

9月27日、魚沼市立図書館で開催。11名が参加。

前半は、推薦基準見直しの方向性について地区委員から報告しました。

後半は、中核機関の体制や役割、現在までの取り組み状況について、魚沼市と南魚沼市の担当者からお話いただきました。組織内外の協力体制の強化や受任者の確保、啓発活動、身寄りなし支援など、市ごとの特色を知ることができ、参加者から活発に質問も寄せられ、有意義な研修となりました。

(報告：早川義明)

### ■ 新潟地区

9月6日、新潟ユニゾンプラザで開催。40名が参加。

2名の会員から「死後事務」に関する事例を報告いただき、実践的な意見・情報交換が行われました。参加者からは、年1回は研修で死後事務について取り上げてほしいとの意見もありました。

また、現在運営委員会により見直しが進められている「ぱあとなあ新潟後見人等候補者選定推薦基準(改定案)」について、あくまで「案」の段階であることを前提として説明を行いました。

(報告：海老郁夫)



あがのソーシャルサポート研究会 11.7  
不動産屋さん、銀行員さん、弁護士さん、杜福士さん

2025年度自主活動支援制度登録団体

## 03 あがのソーシャルサポート研究会

代表 中村真治会員 (No.21792)

構成員 7名

阿賀野市での「身寄りのない方における問題」に関する学習会と提言。

11月7日、阿賀野市で地域ソーシャルワーカー有志による「身寄りなし課題」学習会（今年度第2回）を開催しました。今回は、他業種をお招きしたパネルディスカッション。第四北越銀行様、竹田不動産様からご登壇いただきました。これらの業種においても、「身寄りのない人」や「（身寄りのない）認知症の人」への対応は課題になっており、日々奮闘されておられます。ですが、基本の姿勢は「本人（本人またはオーナー）」の意思が優先。我々との共通点です。また、日頃から福祉系職種との連携を意識していることで、互いの職務を理解することの有用性を改めて感じました。銀行の方がバネリストであり、「信託（遺言信託・家族信託など）」の話題もありました、アドバイザーの佐々木弁護士から解説いただき、知識を整理できました。また、阿賀野地域のサロンでは、金融機関による資産に関する出前講座が増えている状況もわかりました。おひとり様社会に、主体的にポジティブに備えられるよう、専門職による一般向けの情報発信が大切であると改めて認識できました。

（報告・中村真治）

## 研修管理システムmanaable（マナブル）の利用登録をお願いいたします



当会ホームページのトップページでこの画像をクリックすると、マナブルの案内ページに入れます。

マニュアルも掲載していますのでご活用ください。

また、マナブルの登録や操作についてご不明な点があれば事務局へお気軽にお電話ください。

前号（2025年度第3号）の事務局だよりで案内の通り、当会では、9月より研修管理システム「manaable（マナブル）」を導入し、10月より、実際に研修申込受付を開始しました。

マナブルは、研修申込・受講可否確認・支払い・課題提出・受講履歴管理などを一元的に行うことができるシステムです。

11月以降に当会が実施する研修は、基本的にはマナブルを使用しています。ぱあとなあ新潟の各地区研修などもマナブルでの申込受付に移行しています。本事務局だより2ページから3ページに情報掲載した今後の研修もマナブルでの申込となります。次年度からは、基礎研修や成年後見人材育成研修なども、マナブルを使用していく予定です。

会員の皆さまにおかれましては、お手数をおかけいたしますが、マナブルの利用登録のお手続きをお願いいたします。

# お知らせ いろいろ

## 2025年度第4回理事会報告

- ▼日時  
2025年11月21日（金）午後3時～4時
- ▼出欠  
理事16名中、出席11名・欠席5名
- ▼監事2名中、出席1名、欠席1名
- ▼決議及び承認事項  
○第1号議案 新規会員の承認  
8月～10月までの新規会員8名の入会を承認。
- 議案第2号 福島県避難者支援事業の担当理事設置について  
高橋是司理事が担当理事として選任された。
- 議案第3号 法人格取得20周年記念事業について  
令和8年度は、記念イヤーとして会全体の活動に記念企画を連動させ一貫性をもって展開する方針、共通テーマやロゴマークなどが承認された。

## ソーシャルワーカーデー（SWD）実行委員会より

次年度（2026／令和8年度）のソーシャルワーカーデーイベント開催日を次の予定といたしました。  
皆さま、ぜひご予定をお願いいたします。

### ソーシャルワーカーデーにいがた2026

- ▼日時  
2026年7月26日（日）午後
- ▼実施方法  
集合型・分科会方式
- ▼会場  
新潟ユニゾンプラザ4階フロア

## 法人格取得20周年記念事業実行委員会より

上記理事会報告にもある通り、令和8年度（2026年度）は記念イヤーとして、会全体で活動を展開してまいります。現在、特設サイトも鋭意制作中です。  
なお、記念式典・祝賀会を次の予定としております。皆さま、ぜひご予定ください。

### 法人格取得20周年記念式典・祝賀会

- ▼日時  
2026年10月3日（土）
- ▼会場  
新潟グラランドホテル  
（新潟市中央区）

## 福島県生活再建支援拠点コランシヨ新潟より

避難者向け広報誌「みんななじよしてる通信」第12号を発行しました

コランシヨ新潟では、年3回広報誌を発行し、避難世帯へ送付しています。第12号では次のような記事を掲載しています。

- ▼「福島の一と」  
福島県から柏崎市に避難し、現在はNPO法人トライネットで防災士として活動されている渡邊浩二さんのインタビュー
  - ▼「お困りごと相談」  
土地や家屋の相続問題  
（解説・司法書士・草間正浩さん）
  - ▼「特集」  
福島視察研修報告  
（復興支援員・中川雪人さん）
  - ▼「健康づくり」  
ロコモティブシンドロームについて  
など
- 広報誌「みんななじよしてる通信」は、コランシヨ新潟ホームページでご覧いただけます。ぜひご一読ください。





## 事務局より

当会のメールアドレス変更に伴うお願い

前号の事務局だよりでお知らせした通り、当会のメールアドレスを変更いたします。

### 【新アドレス】

会総合

info@cswniigata.com

ぱあとなあ

partner@cswniigata.com

※上記のほか、あいエイド、定着支援センター、コランショ新潟のアドレスも変更しています。

会員の皆さまにおかれましては、大変お手数をおかけいたしますが、以下についてお願い申し上げます。

### ▼ アドレス帳等のご変更

アドレス帳等に登録されている当会アドレスのご変更をお願いいたします。

### ▼ 受信の許可

新アドレスからのメールが迷惑メールフォルダに入ってしまう状況も報告されています。一度、迷惑メールフォルダをご確認いただくとともに、迷惑メールと判定されないよう、受信許可リストへのご登録をお願いいたします。

## 行事予定

### 12月

- 3日(水) 正副会長会議
- 6日(土) 基礎研修Ⅰ集合研修②／あいエイド第三者評価調査者勉強会／ぱあとなあ新潟地区研修
- 7日(日) 社会福祉士実習指導者講習会／基礎研修Ⅱ集合研修⑧
- 8日(月) 県社協主催・新潟県DWA T災害福祉支援セミナー
- 13日(土) 基礎研修Ⅲ集合研修⑦／高齢者支援班下越地区研修／ぱあとなあ上越地区研修
- 14日(日) 地域密着型サービス外部評価調査者養成研修①
- 15日(月) 組織強化プロジェクトチーム会議
- 20日(土) 魚沼地区ぱあとなあ・高齢者支援班合同研修／ぱあとなあ上越地区研修
- 26日(金) 事務局仕事おさめ

### 1月

- 5日(月) 事務局仕事はじめ
- 10日(土) 地域密着型サービス外部評価調査員養成研修②
- 12日(月・祝) 障害者支援班研修
- 17日(土) 正副会長会議
- 22日(木) 虐待対応ゼミ③
- 23日(金) 内部役員会
- 24日(土) 基礎研修Ⅲ集合研修⑧
- 30日(金)・31日(土) リーガル・ソーシヤルワーク研修(認定社会福祉士認証研修)

最近届いた書籍や刊行物

事務局でご覧いただけます



□ 絵本「タナカさんとボクのくつ」(三重県社会福祉士会30周年記念ソーシャルアクション「絵本プロジェクト」)

□ 月刊福祉2025年1月号(特集…意思決定支援の現在地)全社協

□ 月刊福祉2025年1月号(特集…地方自治と福祉のこの先)全社協

□ 実践成年後見119(特集…本人の生活支援と後見実務)民児協研究会、2025年1月発行

Facebook



YouTube



Instagram



NIIGATA\_CSW

OfficialSite



FOLLOW ME!